学生のアイデア×匠の技

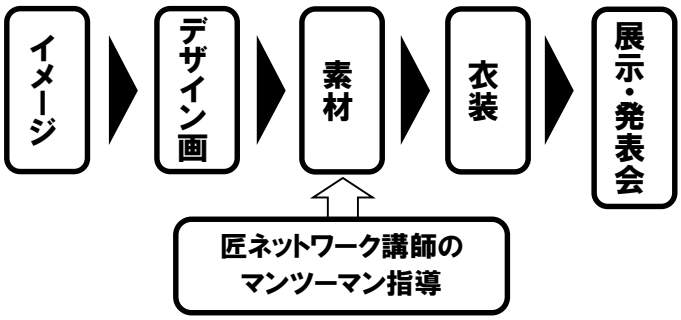
翔工房では、将来繊維・ファッション産業を担う大学生や専門学校生等の感性溢れるアイデアやデザインと、歴史ある尾州産地の製織技術や染色整理技術を組み合わせることで、創造性豊かな新しいものづくりを進めていきます。

１．目的

将来、繊維産業を目指す学生であっても、素材（テキスタイル・ニット）の各製造工程の現場に出向き、製造技術に対する知識を直接得る機会は多くありません。こうした経験がないまま、繊維産業に就業した場合、せっかくの創造性豊かなアイデアに基づき「ものづくり」を進めたとしても、企画側と生産側それぞれの過程での考え方の相違により、企画者の意図が生産現場を知らないことから正確に伝えられないことがあり、結果、当初のアイデアと開発製品とで乖離が生じてしまうことがあります。

製造工程の現場での「ものづくり」を通じて、知識や企画力を早い段階から醸成していくことは学生にとって貴重な経験です。翔工房では、学生の斬新なアイデアと、経験豊富な「匠の技」をもつ技術者とのコラボレーションにより、ガーメントの完成形を見据えた「ものづくり」を進めていきます。尾州ファッションデザインセンター（FDC）は、学校との協力の下、将来の繊維業界を担う若者の人材育成を通じて、尾州産地及び繊維業界の振興を目指します。

２．アイデア想起から衣装製作、発表までの流れ



３．スケジュール（2025 年度）

４月	メールにて参加者募集（〆切５月１６日（金））
６月 10 日	匠講師による書類審査（18 人程度）
６月中旬	参加学生を決定、学校へ通知
７月３日（木）	第１回合同ミーティング （座学研修・匠講師との素材製作開始）
９月上旬	工場見学（バスツアー）
７－10 月	素材製作（４－６回程度）
11 月 18 日（火）	第２回合同ミーティング（完成素材の求評）
11－１月	学生による衣装製作
１月中旬	ファッションショー・動画撮影（日程調整します）
２月１９・２０日	THE BISHU～糸と尾州の総合展～で衣装を常設展示、動画公開

４．翔工房応募、参加にあたっての要件

〇製作する素材等の要件

・尾州産地の特徴を活かせられる手法であること。（プリント、レースは原則不可）

・ビジネスを見据えた製作手法を習得するため、材料費及び外注費等の製作費用の上限を１２万円（税別）とする。費用管理は講師が行う。（紋紙費用が高額になるジャカードは点数制限あり。）

・原則として製作する生地は１点とする。衣装製作にあたり、必要な裏地や副資材、その他の生地は自身の負担で手当すること。

・素材のサイズ（衣装製作に要する全巾×８m を上限、FDC 提出用全巾×１．５m）

〇参加の要件（要件を満たせない学生は、事業を中止する場合があります。また、所属学校の次年度応募者の審査にあたって減点材料とします。）

・学生保険に加入していること。

・**将来、繊維・ファッション産業への就職を希望し、翔工房での経験を活かすべく意思があること。**

・尾州産地に出向き、講師と積極的にコミュニケーションを図りつつ、主体的に素材製作に精励すること。

・マンツーマン指導に際して、講師のスケジュールを最優先にすること（アルバイトや私用、学校からの課題等を理由に進捗に支障をきたさないこと。）。

・ミーティングと撮影に必ず出席すること。採用面接やインターンなどでやむを得ず欠席する場合は学校を通じて FDC に連絡すること。

・講師指導を受ける毎に作成する「翔工房受講日誌」、素材完成後に作成する「翔工房作品明細及び製作レポート」を速やかに提出すること。

・衣装製作の基礎知識を有していること、または過去に衣装製作の経験を有していること。

・翔工房で製作した素材を基に、衣装を完成させること（翔工房では素材の完成までを支援します。衣装製作にかかる費用は参加学生の自己負担となり、講師指導も行いません。）。

・THE BISHU～糸と尾州の総合展～で展示するため、FDC に衣装を貸与すること。

・翔工房作品発表会にあたり、モデルを手配すること（参加者本人の着用可、モデルに対しての旅費支給あり）。

・活動写真、ショーの様子などは FDC が事業報告等で使用します。写真掲載が出来ない学生は参加できません。

〇募集人数・審査ポイント

・募集人数　18 名程度（ジャカード生地、ニット生地には上限があります）

・審査ポイント

テキスタイルの実現性、デザインコンセプトの明確さ、ものづくりに対する情熱、志望動機を総合的に勘案。将来的に産地への貢献が期待される人材（尾州産地への就職活動中、デザイナーになって尾州産地に貢献する等）には加点を行います。

５．学校推薦者兼担当責任者様へのご連絡

・書類審査により参加学生を決定します。
・翔工房を円滑にすすめるため、必要に応じて参加学生に対する指導、配慮等をお願いします。
・参加学生への連絡は担当責任者様を通じて行います。参加学生へのお取次ぎをお願いします。

６．応募書類の提出方法

〇提出物

・提出期限は**５月 16 日（金）午後５時まで PDF ファイル形式をメールにて必着**です。

※提出期限を越えた場合は審査いたしません（審査対象外だったか否かは非公開）。

※メール以外の方法は受け付けません。件名「翔工房応募（学校名）」として、メール送付後５日間事務局より確認メールがない場合はご連絡ください。

・学校単位で取りまとめの上、提出して下さい。（１名１点まで、各学校３名まで）
・イメージマップ＜別紙１－１、１－２＞
　衣装のデザイン画（F.S.及び B.S.、直筆または自身がイラストレーターなどのソフトを使用して描いたもの）及び素材のイメージ
・製作イメージ及び志望動機等＜別紙２＞
　素材のデザインや製作工程のイメージ、翔工房に参加するきっかけや何を身につけたいか等の志望動機や意欲を記載して下さい。
・学校の推薦状＜別紙３＞
　学校側で参加の要件を満たす事ができる学生を判断した上で推薦願います。